

寒川町社会教育委員研修会等参加報告書

| | |
|--|-----------------------------------|
| 参加研修会等 | 令和元年度神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会（小田原市会場） |
| 日時 | 令和元年11月14日（木）午後1時30分～4時00分 |
| 会場 | 小田原市生涯学習センターけやき |
| 参加者 | 社会教育委員 加藤桂子、金子洋一 教育総務課 山口明子 |
| 【概要】 ①人権講話「地域で支える子どもの育ち」 小田原市社会教育委員 高須正幸氏（神奈川県小田原児童相談所長） 西湘なでしこ会 本田さんによる里親制度と里親家庭での子どもたちの状況についての講話。学区に1里親家庭あれば、子どもが転校せざるを得ないケースが減らせる。 ②アトラクション「外郎売」 外郎売の口上研究会による上演。地域の人々が参加する団体で、小田原市の歴史と文化継承の役割を担っている。 ③基調講演「社会教育の役割を再確認する～小田原市を例にして～」 小田原市社会教育委員会議副議長 笹井宏益氏（国立教育政策研究所客員研究員・玉川大学学術研究所高等教育開発センター教授） 人生において、人々の多くは社会教育にかかわったことがあるが、社会教育という言葉の認識度は低い。行政も担当部署に「社会教育」を使用する自治体は少ない。社会教育の中には青少年教育や成人教育、地域教育なども含まれる。法律上、生涯学習は「生涯にわたり様々な学びを継続的に行うこと」という理念として、社会教育は営みとして位置づけられている。 ④事例発表1「子どものまなび～地域資源を活かした放課後子ども教室の取り組み」 小田原市社会教育委員 有賀かおる氏（放課後子ども教室コーディネーター） 放課後子ども教室の取り組みについて平成24年度から開設をはじめ、令和元年度に全25小学校設置。運営スタッフは学習アドバイザー、安全管理員、コーディネーター。元教員を学習アドバイザーに起用している。プリント学習のほか、小田原の歴史カルタを使って遊びながら学びを深める。カルタの実物を会場に展示。 ⑤事例発表2「大人のまなび～地域資源を活かした生涯学習プログラム」 小田原市社会教育委員 齋藤ゆか氏（神奈川大学教授） 小田原市は人口19万人のうち、成人が70%を占める。小田原市の生涯学習事業として「キャンパスおだわら」と「おだわら市民学校」について紹介。多くの市民の参加により事業が評価、推進している。 | |
| 【感想等】 （今後、寒川の社会教育に生かせそうなこと等） 今回の地区研究会全体を通して、小田原市の歴史や文化、自然など地域資源を活かしたプログラムが多いと感じた。自分の住むまち（地域）に誇りや愛着を持ち、年を重ねてもいきいきと学び続けられるよう、仲間とつながる機会があると良いと思う。 | |

寒川町社会教育委員研修会等参加報告書

| | |
|--------|------------------------------|
| 参加研修会等 | 第61回神奈川県公民館大会 |
| 日時 | 令和2年 1月 17日(金) 13時00分～16時25分 |
| 会場 | 愛川町文化会館ホール |
| 参加者 | 山口明伸 |

【概要】

<テーマ・大会趣旨>

「これからの時代に求められる公民館像とは」

新しい時代における公民館の姿を考えていく必要があることから、公民館をネットワークの拠点とした新しい「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」を展開するために子どもたちを中心とした地域社会との協働活動にどうかかわれるのか考える。

基調講演「これからの時代に 公民館に期待されるもの」

講師：宮城教育大学学長 特別補佐 野澤令照

公民館：地域住民のために社会教育を推進する拠点

→まなぶ つどう むすぶ 公民館は人づくり、地域づくりの場

教育には2つある。学校教育（20年）と社会教育（80年）。だが、社会教育の認識が低い。

これからの学校：よりよい社会をつくるという目標のもと、教育課程を通して地域とつながる学校

地域学校協働活動の取組

子どもは幅広い学びを得る 地域は元気になる 学校は理解者が激増する

→学校を核とした地域づくり（いい学校は、いい地域をつくる いい地域には、いい学校がある）

地域全体で子どもたちの成長を支える

その為、公民館が「地域学校協働活動」の拠点としての役割を担う

公民館と地域社会がつながり、地域全体で子どもたちを育てる仕組みづくりを推進する

事例発表 協働で生まれ変わる地域と学校～ともに学び、ともに育つ～厚木市森の里公民館

① ふれあい喫茶の授業 in 森の里小学校 ② 中学生震災復興支援ボランティア事業

今ある公民館事業で得た成果をちょっとした工夫で、学校教育に生かすことが大切

【感想等】（今後、寒川の社会教育に生かせそうなこと等）

寒川町での現在の課題は、公民館の活性化（すべての世代が集う）である。学校を核とした地域づくりの為には、公民館が拠点となる。その為には、学校（校長含めた教職員・PTA等）が公民館（生涯学習推進員会議を含む）を理解・協力していただかないと、前には進まない。まず、学校関係者が生涯学習推進員の一人として参画してもらうのが第一歩であると思う。（しかし、教員の働き方改革で難しい）